

特集「命が命をつなぐ森」の感想

◆クマが住宅地においてきて人を襲うニュースを見て、怖いなあと思っていたのですが、野生動物が人間の住む場所に下りてこないといけない状況を人間が作っている事がわかり、ゴミを捨てない等、自分たちができる事をしていかなければと思いました。勉強になりました。(高知市・44歳)

◆キャラクターや漫画を通して、森林の事について描かれていてすごくわかりやすいと思う。また、人間がたくさん動物対策をしているけど、動物も困っているという事を知る事ができた。身の回りにある自然のものについて、ちゃんと考えたい。(高知市・13歳)

◆森と共存している事を子どもと一緒に考える事ができて良かったです。森で生きている動物と人間が共に生きていける場所を、町を、つくっていききたいと思います。(四万十市・49歳)

◆「共生について考えてみよう」のコーナーをじっくりと読みました。シカの数の多さにビックリしました。山に住んでいる方が、畑で育てた野菜や果物を食べつくすと言っていたのを思い出しました。本当に困った問題ですね。(香美市・51歳)

◆イノシシやシカ、猿などが人間の生活圏に入ってきていますが、里山を整備する事で共生が図れるのではないかと感じました。(三原村・58歳)

◆誌面が子どもにも読みやすいいいです。鳥獣ハンターの罠のしかけが興味深かったです。(日高村・40歳)

◆動物を大切にすること、自然をつくる事がわかりました。(高知市・7歳)

◆いつも子どもがもらって帰ってきます。動物が好きでイラストが描かれていると「これはどんな本？」と

聞いてきます。殺す事は仕方ないと分かっているながらも、かわいそう…と涙しています。なんとか共生していきたいものですが、なかなか難しいですね。(高知市・7歳)

◆以前より、子供向けに読みやすくなっていると思いました。罠の設置はリアルな内容でしたが、大切な教育だと親子で勉強しました。(高知市・41歳)

◆表紙から、四国にもツキノワグマがいる事を知りました。四国のツキノワグマの保護についてYoutubeで活動を知り、応援したいと思いました。(梶原町・39歳)

◆鳥獣被害は私の住む地域でも大きな問題になっています。私たち、一般の住民でも実行できる対策等があれば特集してもらいたい。(安芸氏・61歳)

◆山の中に暮らしていますので、イノシシのことは主に身近な食材として考えてきました。ほかにも、シカやサル等で、合わせると毎年1億円もの被害が出ていると知って驚きました。(高知市・48歳)

◆鳥獣ハンター、中江産業の皆さんは仕事でお付き合いがあります。増えすぎたシカやイノシシは、植林する側からすれば迷惑な存在でしかないようです。適切な頭数を保持して共存できることが理想です。勉強になりました。(高知市・56歳)

◆私は森林を守る事には賛成ですが、害獣を駆除する事はあまり好きではありません。もちろん害獣を駆除しないと森林を守る事ができない事も知っています。難しい問題です。でも、駆除する事を決めたのは人間です。動物も人間も1つの命です。(高知市・13歳)

◆「鳥獣ハンターと森を歩く」を読んでびっくりしました。私はよく犬の散歩に山の中に入っていきます。木に括られたリボンがよく見えていましたが、それが罠

のあるところなののでしょうか。そうだとすると、とても危ないと思います。一步間違えたら、私や犬がかかっていたかもしれません。何か注意を促すものを付けておくべきではないかと思いました。(いの町・61歳)

◆ 私の実家の方でも、畑にイノシシとかハクビシンが来て、なかなか人間の口にまで入らなくなっています。もっと杉の木などを利用して減らし、実のなる木。しいの木、どんぐり等が増えて山に食物ができるようにしてほしいと思います。(高知市・69歳)

◆ 初めて、もりりん冊子を手に取りました。山と動物、人間とのかかわりの大切さ。子どもと一緒に見ても楽しめる内容で、とても勉強になりました。また次回、見たいと思いました。(高知市・41歳)

◆ 私も、いの町の田舎で農業をしています。農作物と果樹に鳥獣被害を受けています。でも、ただ保護ばかりでなく、共生を真剣に考えるべきとの意見を持つ者です。まず、杉やヒノキなど、針葉樹林の伐採を公共事業としてすすめて欲しいです。それが、水や海など、最終的に人間の生活を守る直結手段だと思います。(いの町・68歳)

◆ 高知県の鹿の生息数が、適正頭数の8倍にもなり、森林被害が深刻ということを知りました。人間が利便性を追求した結果、環境だけでなく動物の生息数などにも影響を及ぼしているんですね。環境問題や、動植物との共生について、夏休みに子どもたちと考えてみたいと思います。(いの町・40歳)

◆ 鳥獣ハンターの仕事は野生動物の個体数の調整だけでなく、私たちの暮らしにも大切な仕事だと感じた(高知市・22歳)

◆ 森を守りたいのか、動物たちとの共生を守りたいのか分からない内容でした(高知市・24歳)

◆ 森を大切にすることは、結果的に私たち(子どもたちの将来も含め)を守り、命を守ることにつながる為、必要なことだと思う。(高知市・30歳)

◆ イノシシに畑を昨日荒らされていたことから、イノシシは悪いと子供と話していたが、自分達にできることについて考える機会となった。(高知市・35歳)

◆ 野生鳥獣による被害が毎年1億円以上と知って、大変驚きました。(高知市・36歳)

◆ 県内に鳥獣対策に取り組む企業がある事を知らなかった。他の企業の森林関係の取り組みも知りたい。(高知市・26歳)

◆ 共生について深く考えさせられました。人間中心の世界ではない、生き物への優しさも考えることができる内容が良かったです。(高知市・42歳)

◆ 国産の木製品を使うことが一步になるんだと感じた(四万十市・33歳)

◆ 共生についてはたくさんの人に知ってもらいたい大事なことだと思います。Youtubeチャンネル登録しました。頑張ってください。(高知市・29歳)

◆ ツキノワグマが四国にいることは知りませんでした。6~7ページ興味深かったです。(愛媛県・39歳)

◆ 森とこんな風に繋がっていたんだと思うと感動した。子どもたちの森の絵もすごく良かったです。(高知市・66歳)

◆ 自然、動物、人間が共存していくため、災害を防ぐために森林を守らなければいけないと思った。(土佐市・9歳)

「木の家が持つ魅力をチェック。」の感想

◆ 建物に木材を使用した教育機関で、学べるのが素敵だと思った。(高知市・25歳)

◆ 高知学園短大の卒業生です。木造の素敵な校舎ができていてなんて知りませんでした。通うたびにワクワクするような学び舎で、学生たちがのびのびと勉強できたらいいですね。森林環境税について知らなかったので勉強になりました。(佐川町・31歳)

◆ 高知学園の木造学舎がすごく綺麗で、写真で内部が見られたので嬉しかったです。高知は森林が多いのに、小さい頃、林業の事を学んだりする機会が少なかったもので、今の小さい子どもたちは、もっと林業・森林の事に触れる機会が増えればいいなと思います。(高知市・33歳)

◆ 本誌で木造学舎を知りました。温かみのある学校の様子が伝わりました。(高知市・41歳)

◆ 高知学園の木造学舎は学生の心理面に好影響を与えることは確実だと思います。学生は幸せです。全国に木の学舎が増える事を願っています。共生とは、地球全体が人間も植物も動物も生命共同体として生存しています。バランスのよい環境になる事は簡単ではないと思いますが、人間は地球の未来を考えて行動しなければならないと考えさせられました。これからも、もりりんを楽しみにしています。(黒潮町・56歳)

◆ いつも楽しみに読ませてもらっています。学園大学が木造で3階までCLTを使っていると知り、驚きました。職場が旭なので見に行ってみたいです。木のぬくもりはいいですね。ホッとする学校生活、素敵です。(高知市・44歳)

◆ もりりんを読んで、少しでも森のためになればと思い、子どもに高知県産の木材の積み木を買いました。

木の香りがとてもよくて、癒されながら一緒に遊んでいます。(南国市・35歳)

◆ 「木の魅力をチェック」のページ、こんな大学で勉強できる学生は幸せですね。うらやましい。我が家も今年、木造で家を新築したのですが、木の魅力に毎日本当に癒されています。(四万十市・37歳)

◆ 母校の新しい校舎を見る事が出来て嬉しかったです。学生達の声が載っていたら尚良かったと思います。(高知市・41歳)

◆ 高知学園の木造校舎がとても素敵だなと、思いました。見ているだけで木の香りがしそうですね。(高知市・40歳)

◆ 高知県の豊かな森林を後世に残すとともに、豊富な県産木材を有益に活用されるよう、施策を継続いただけるようお願いいたします。(高知市・34歳)

◆ 森が食物連鎖によって保たれていることを知ることができた。また、高知県は全国一の森林率であることにも驚いた。「こうちの木に住まいづくり助成事業」があることも初めて知った。こうやっていろいろな情報を流してもらうことで、森林環境を守るために私たちにできることを見つけられると思う。リフォームする時には県内産乾燥木材を使いたいと思った。もりりん、楽しみにしています。(安芸市・49歳)

◆ 家を建てる際、最大80万円の補助があるのはとても有難いですし、素敵な取り組みですね。是非今後、キャラクター似顔絵コンテストにも小学校1年生の娘と応募してみたいです。これからも応援しております。(香美市・36歳)

「第2回キャラクター似顔絵コンテスト受賞作品発表」

◆ 似顔絵コンテストが、とてもよく描けていて驚きました。(日高村・13歳)

◆ 似顔絵コンテストがとても可愛かったです。子どもが楽しんで参加できる企画はいいなと思います。(高知市・36歳)

◆ 第2回キャラクター似顔絵コンテストでは、海や山をテーマに生き活きと楽しい絵が出ていて、ほのぼのします。四万十町の作品が多いので、私としては嬉しい限りです。小さいうちから森林環境に関心をもつことが、将来につながる一番の教育ではないでしょうか。(四万十町・68歳)

◆ 似顔絵コンテストがとても素敵でした。皆さん上手で、息子もこんなに絵が描けるようになって、森林にも興味をもってほしいと思いました。(高知市・31歳)

森林環境税について

◆ 森林環境税でどのような物をつくったりしているのか、もっと県民に分かるようにしてほしい。環境税に関しては大賛成。(高知市・46歳)

◆ ぼくは、山村留学で高知県の学校に行っています。大川村は本当に山奥で、木などがいっぱい生えています。この雑誌を学校で見て、森林環境税で自然が守られている事を初めて知りました。これからもこの雑誌を見て、自然について参加できる事、知れる事を楽しみにしています。(広島県・9歳)

◆ 森林環境税として県民税で500円払い、環境保全に使われている事は、私は良い事だと思います。なぜかという、そうする事によって、環境は保たれているわけだし、豊かに暮らせているので、これからもそれは続けていくべきだと思います。(宿毛市・14歳)

◆ 森林環境税について初めて知りました。そんな取り組みをしていたんですね。高知県には自然がいっぱいありますが、それも整備が必要なんですね。知らない事が知れて面白かったです。(高知市・39歳)

◆ 山の木を伐ってしまうと、大雨の時に洪水になってしまいます。今、温暖化の影響で川の水が溢れ、家が浸かる事があります。木は山に必要なものです。大雨の時、木の根っこが水を吸って氾濫しないようにしてもらいたいです。そのためには森林環境税が必要です。(高知市・67歳)

◆ 高知県中部や山側は、うまく木を使っていたり、森林環境税が目に見える形で使われている感がありますが、県の端っこの方はあまりそれを実感できないでいます。(土佐清水市・38歳)

◆ 森林環境税には賛成です。学校の授業でも取り入れてもらったら、自分も小さい頃から関心もてたと思

うので、小学校からそういう授業を取り入れてほしいです。(四万十市・37歳)

◆ 森林環境税については1人年間500円であるが、2~3倍徴収して取り組みを拡大すべきだと思う。また、個人だけではなく、法人税への上乗せも検討していいかどうかを考える。森林環境税については、周知されていない部分もあるため、積極的な広報活動をおこなう必要がある。(須崎市・50歳)

◆ 森林環境税があることによって、森林や動物たちの環境もよくなり、森林のことを意識し、環境によい行動を自然とできるようになるので、とてもよい取り組みだと思いました。もりりんはまんがで小さい子どもから大人まで分かりやすく、深いところまで学べて、すごくハッとするとところがありました。(岡山県・13歳)

◆ 自然を守ることは、私達の生活を守ることでもあるので、森林環境税はもう少し高くなってもいいと思う。熱海の土砂災害をみても、山を切り開いて太陽光パネルを設置したり、盛土をしたり、森林整備がなされていないなかったりが問題だったと思うので、森林環境を守る為の税金投入はもっとしていいと思う。(高知市・44歳)

◆ 素人目では学校の机ぐらいしか森林環境税が使われているのが分からず、どこでどの様に使われているのかわからない。(土佐山田町・38歳)

◆ 読むことは楽しみにしていますが、幼稚園からも小学校からもらってきます。税金で作っているのかな?と心配になります。(高知市・41歳)

◆ 何に使われているのかを知りたい。(高知市・9歳)

◆ 森林環境税は、もりりんでは知りましたが、高知だからこそ、とても良い取り組みだと思います。私も森林

救援隊に入っており、木や山と関わることの楽しさを実感しています。(高知市・41歳)

◆ 森林環境税について知らない人が多いと思います。学校関係者なので、森林センターの方に出前授業してもらっていますが、このような機会が学校外でもあればいいなと思います。(高知市・28歳)

◆ 森林環境税というものがあることを知らなかった。知らない間に森を守るお手伝いできていたのが嬉しい。(高知市・62歳)

◆ 森林環境税について何も知らなかったの、そういう制度がある事を初めて知りました。普段は森林と関わりがないけれどこんな形で役に立てるならいい制度だなと思いました。(越知町・34歳)

◆ 山の多い高知県ならではの、とても良い制度だと思う。個人では何をしても良いか分からないこともあるが、これだと皆が郷土の森を守ることに少しでも貢献できそう。(四万十市・40歳)

◆ 初めて読みました。高知学園の記事は特に興味深い内容で、こんな立派な校舎が出来ていることは知らなかったの、見に行ってみようと思います。また、森林環境税として500円払っていることも初めて知りました。かなりの金額になると思いますが、何に使われているのだろうか？収支内容が気になります。(高知市・51歳)

◆ 今回、初めてもりりんを拝読しました。森林環境税というものがあるのも、本誌で初めて知りました。1人年間500円で森林の整備やシカ被害対策、木材の利用ができるのはとてもいい事だと思います。特に高知県は森林率が日本一ですし、この自然豊かな高知県の森林を守っていくのにも森林環境税は必要だと思います。また、本誌に掲載されていた高知学園大学の木造校舎が、正直羨ましかったです。今、県内の専門学校

に通っていますが、私もこのような綺麗な校舎で勉強したかったという思いです。とても興味のある記事内容ばかりで、読んでいて楽しかったです。また定期的に読みたいと思います。(高知市・19歳)

◆ 東京からの移住者です。近頃は高知県でも都会に準じた教育や遊びが多く、自然の中で遊ぶ子供たちが少なくなってきており自然環境について学ぶ機会が少ない中でこのもりりんは小さな子どもでも分かりやすく森のことを教えてくれるのでずっと続いて欲しいと思っています。森林を守るための税金は必要だと考えています。(四万十市・48歳)

◆ 小学1年の息子がこの誌をとって“これ、なに？”と聞いてきました。一緒に高知県の森林環境税のことを“へえ〜”といいながら読みました。私も勉強になりました。“税って何？”のスタートからでしたので、とても時間がかかりましたが“すごいやん！すごい仕組みやん”と感心していました。“500円かあ〜。うまい棒がめっちゃ買えるやん”とも言っていました。さすが小学生です。(高知市・46歳)

「もりりん」について

- ◆ いつも読ませてもらっているが、住んでいるのに知らない事もたくさんあって、子どもと森林の事を話すきっかけになっている。(香美市・33歳)
- ◆ 森林環境の事が詳しく書かれている。わかりやすくていいと思った。(高知市・25歳)
- ◆ 高知県は森林などがたくさんあるのでもりりんを作ることにはすごくいい事だと思います。(高知市・10歳)
- ◆ 全国一の森林率を誇っている高知県に住む私たち。もっとたくさんの知識を習得し、県外の方たちに高知の魅力を伝えたいです。子ども達と楽しくもりりんを読んでいます。(高知市・45歳)
- ◆ いつも読んでいます。Twitterもフォローさせていただきました。森林環境税にて高知のキレイな森林を守っていく事はとても素晴らしいと思います。本誌は、小学生の子どもにも読みやすく工夫されていると思いました。(仁淀川町・35歳)
- ◆ 一番森が多い県として、小さい頃からマモルンなどのキャラクターを通じて、森との関わりを考えるきっかけになる冊子は必要だと思います。(香南市・47歳)
- ◆ 実家が山の中なので、とても勉強になりました。子どもにも3回ほど読んであげて、一緒に考える事ができました。(高知市・42歳)
- ◆ もっとページ数や、写真を増やしていただきたいです。(高知市・38歳)
- ◆ いろいろなものがあって面白かった。(高知市・6歳)
- ◆ とてもおもしろかったです。(土佐市・8歳)
- ◆ 高知の豊かな自然を守るためにどうしたらいいかを考える事ができるので、これからも続けてほしいです。(高知市・12歳)
- ◆ 林業や森の動物、建築など、これから勉強したい事は沢山ありますが、このもりりんはそれらを楽しみながら学べる優れた冊子だと、今回感じました。以前のmamoriの裏表紙にあったかたるを、また載せてほしいです。また、緑の募金を行いたいと思います。(土佐市・33歳)
- ◆ いろいろな事を分かりやすく説明してくれて、見やすく読みやすいです。(芸西村・41歳)
- ◆ 漫画風で親しみやすい。(香川県・60歳)
- ◆ 子ども向けに作成しているようですが、大人が見ても見ごたえがあり、よかったです。(高知市・61歳)
- ◆ 未来を担ってくれる子ども達にスポットを当て、森林に親しんでもらえるような誌面作りになっており、小学校の教材としても利用できる内容なので、学校の先生方にも利用してもらえばいいですね。(いの町・65歳)
- ◆ 子どもがもりりんをもらってくるたび楽しみに読んでいます。身近に森林はあっても、今まで知らなかった森の働きや、森を守る大切さを改めて知る機会になっています。(大豊町・39歳)
- ◆ 山の環境問題には関心があったけど、実際何に気を付けていけばいいか曖昧だったので、イラストでわかりやすく書いてくれていて理解しやすかったです。(高知市・38歳)
- ◆ 毎回興味深く読ませて頂いています。高知県の誇るべき森林率や豊富な資源や生物を護る為に、県民の意識付けにこうしたフリーペーパーは重要な役目を担っ

ていると思います。ついつい議題上、難しい印象も受けるかと思いますがもりりんは漫画のタッチもあり、若い世代の県民にも手に取りやすい誌面になっており、私のような20代でも毎回分かりやすく読ませて頂いております。今後も幅広い世代の方にもりりんを通じて森林保全の重要性を発信して頂きたいです。頑張ってください。(高知市・28歳)

◆ 子供から大人まで、分かりやすい。(高知市・37歳)

◆ 子どもが森林環境について触れる機会となって良いと思います。子どもに読み聞かせています。(香北町・40歳)

◆ 主人が木こりなので勉強にと以前から読んでいます。いつも丁寧な説明、子供が興味を持てる絵などありがとうございます。(高知市・30歳)

◆ もっと美しい森林の写真をたくさん載せてほしい。(いの町・37歳)

◆ いつもたのしみにしてるよ。もりはだいじ。しぜんがっこうにいったか。たいせつに木ののこりもつかうよ。ありがとう。(いの町・9歳)

◆ 初めて読みました。子どもたちと一緒に森ってなあに？動物ってどんなふうにしてるの？と話しながら読みました。(高知市・39歳)

◆ 毎回楽しみにしています。夏休み前にもらうので、夏休みのお出かけスポットや、自由研究の参考にしています。(高知市・13歳)

◆ 定期的に学校を通してもりりんを配布することは、子どもや保護者への啓発活動として、とても有効だと思います。(室戸市・50歳)

◆ もりりんは読みやすく分かりやすい。色使いなど

で読み手を惹き寄せていると思います。(南国市・27歳)

◆ 今までの森林についてあまり興味がなかったんですがもりりんを読みはじめてからは森林のことが気になり森や木をよく見るようになりました。(高知市・46歳)

◆ 年寄りには、マンガが少しごちゃごちゃしていて見づらいし、頭に入りにくいかな？(いの町・74歳)

◆ 絵のタッチは可愛いのに、P4-5のマンガ部分の絵と文字の詰め込みにより、ゴチャゴチャした印象で見辛いです。(高知市・45歳)

◆ 森林について知らないことが多いが、本誌は字が大きく、イラストも可愛らしくて分かりやすかった。(高知市・28歳)

◆ 漢字にふりがながついているページが多く、大人も子供も読めていいです。(高知市・49歳)

◆ 居住地区ではなかなか見ない内容だったので林業に力を入れている感じがしました。県の方針や思惑が伝わります。とても良いと思います。(兵庫県・47歳)

◆ 県の林業課がこのような冊子を作成しているのがすごいなあと思いました。漫画が表紙になっているので、いろいろな年代の人に手にとってもらいやすいのではと思います。わかりやすく面白い内容でした。(愛媛県・23歳)

◆ 高知県のもりりんのような冊子を、同じ森林王国の徳島県は出していない。けれども、森林整備によく力を入れ出しました。徳島と高知、共同で何か連動した活動をしてもらいたいです。(徳島県・51歳)



意見・要望等

- ◆ 私は森林の事は詳しくは分かりませんが、もりりんを読むといつも悲しい気持ちになり、自然に対してちゃんと向き合わないといけないなと思います。けれど、何も出来ていないのも現実です。(土佐市・35歳)
- ◆ 川・海の資源を守っていくためにも森林の保全は大切だと思います。県民1人1人が意識を高めていくべきです。(四万十町・48歳)
- ◆ もりりんの作成など、広報活動にもお金が使われている事は良いと思います。若い方向けに、SNS等でも広報した方が良いとも思いました。(梶原町・39歳)
- ◆ 娘の保育園で本誌を入手しました。「特集 おしえてマモルン！」は可愛い漫画で描かれており、子どもと森林環境を楽しみながら勉強する事ができました。私が子どもの頃、県のイベントで植樹をしたのですが、とても森林に興味をもてたので、どんどん体験イベントを開いてほしいです。(高知市・31歳)
- ◆ 漫画なので、小2と小3のわが子も楽しく読んでいます。イベントが少なくなっているので、木のイベントやアスレチックなど、何かお祭りのようなものが恋しいです。事前申し込みがなくても、参加できる手軽なイベント、期待しています。(高知市・42歳)
- ◆ 自然災害が起きないようにしてほしい。(南国市・10歳)
- ◆ 山登りや、木を使ったスプーンやフォーク、ペンダントなどの物づくりのイベントがあれば参加したいです。イベント情報や体験できる場所、オススメスポットの紹介もお願いします。(安芸市・32歳)
- ◆ 子どもと一緒に間伐のイベントに参加したい。イベント情報も載せてほしい。(須崎市・46歳)
- ◆ 保育園に置いてあるのを、時々読んでいます。木のおもちゃや木の遊び場などを載せてくれると嬉しいです。(香南市・40歳)
- ◆ 森林県の高知県ですが、林業従事者の減少で森の荒廃が心配です。木材の伐採後の植林制度が存続しているのかも気になるところです。(津野町・68歳)
- ◆ 学生です。実習を終え、今は保育園でバイト中です。園児は葉っぱ1つがいろいろな物に見え、創造力豊かなことに驚きます。普段子どもが手に取る身近な葉や木の実などの豆知識や、トゲ、かゆみが出るなど注意すべき植物が知りたいです。(南国市・20歳)
- ◆ 熱海での災害を見て、森林だけでなく、山を完全に保つことの大事さを真摯にかんじました(高知市・42歳)
- ◆ 森林と触れ合うイベント等の情報があれば知りたいです。(高知市・41歳)
- ◆ 森林の重要性や、森林との身近な関わり方をもっと教えてほしいです。(高知市・46歳)
- ◆ 林業はとても意義のある仕事だと思いますが、農業や漁業に比べて認知度が低い気がするので、小さい子どものうちから林業に関する知識を持たせることは森林率の高い高知県では特にしていくべきだと思います。(高知市・36歳)
- ◆ いつも楽しみにしていますがなかなか手に入りません。もっと多くの場所に置いてもらえると嬉しいです。(高知市・62歳)
- ◆ 森との関わりが出来る、例えば登山など教えてほしい。(南国市・40歳)